

男女がお互いを尊重し、その人らしく生きる。
仕事も暮らしも楽しむ。
そんなあなたを応援する情報誌です。

特集

平成から令和につなぐ 「私たちの働き方」



P6

令和元年
一人ひとりの夢・目標・メッセージ

P8

データ・ウォッチング
「5.8%」女子の大学院進学率

P9

世界の仕事・家庭・生き方
「ネパール編」

P10

しんじゅく
ワーク・ライフ・
バランスの星



P11

インフォメーション
「ここから・まつり」
「若者のつどい」
開催します

特集

平成から令和につなぐ 「私たちの働き方」

平成の30年間で、「男女共同参画基本法」などの法的な環境整備とともに、女性の社会進出が進みました。
今号では、平成のトピックや流行語、女性の働き方に関わるデータを年表にして、平成時代の女性の働き方の変遷をたどりました。

また、令和という新たな時代を展望するために平成を象徴する言葉をコラムで取り上げ、平成という時代を振り返ってみました。

いよいよ来年、東京2020オリンピック・パラリンピック開催を控え、私たちはどのような日本の姿を世界に発信することができるでしょうか。



©一般社団法人新宿観光振興協会



大成建設・梓設計・隈研吾建築都市設計事務所JV作成／JSC提供
注）パース等は完成予想イメージであり、実際のものとは異なる場合があります。
植栽は完成後、約10年の姿を想定しております。

男

女雇用機会均等法施行とバブル期の人手不足を背景に、女性にも男性と同じ仕事に就くチャンスが広がりました。バブル崩壊後は非正規雇用が増えるとともに、正規労働者の長時間労働が問題となり、社会全体では晩婚化・非婚化による少子高齢化が加速していきました。

また、働く女性が増えたものの、性別役割分担意識は根強くあり、2018年の日本のジェンダーギャップ指数（経済・教育・保健・政治の4分野のデータから各国の男女平等格差を示す指標）は110位で、先進国の中で最も低くなっています。その要因は政治・経済分野での男女格差が著しいことです。

一方、世界的な人権意識の高まりや多様性重視の流れに沿って、さまざまなハラスメントへの対応や性的マイノリティへの配慮は進みつつあります。また、勤務時間を柔軟にするフレックスタイム制を採用する企業も増え、さらにIT技術の進歩などにより、勤務場所に縛られない働き方も可能となるなど、働き方の多様性は今後も拡大していくことでしょう。

共働き949万世帯
専業主婦世帯数を
上回る

課長職
女性割合（民間）
わずか2%

1999
H11

改正男女雇用機会均等法施行、採用・昇進・教育訓練等の男女差別禁止に男女共同参画社会基本法施行

1997
H9

消費税5%
金融破綻

1995
H7

育児・介護休業法に改正
高齢社会（高齢化率14%に）
インターネット

1994
H6

中学校家庭科必修に
就職氷河期

1992
H4

育児休業法施行

1990
H2

バブル経済
オヤジギャル

1989
H1

消費税3%導入
24時間タカエマスカ

年表の見かた

黒字 法律
ピンク字 ニュース・トピック
青字 新語・流行語

平成初期

バブル後期

長時間働くことが美德とされた時代。経済成長を象徴する派手なデザインがもてはやされた。

肩が大きいダブルのソフト・スーツ



ワンレ、ボディコンスー

平成
ファッション史

時代を象徴する
オフィスファッションを中心に
変遷をたどってみました

column | SNSの活用

平成の間に携帯電話はひとり一台が当たり前の時代となり、インターネットは私たちの生活に入り込んで、欠かせないツールになりました。SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）は、インターネットを介して人間関係を構築できるWebサービスですが、「SNSいじめ」など今までになかった問題を生み出しています。一方で個人が感じた違和感を世間が拾いあげ、大きなムーブメントを生み出す可能性も秘めています。働きたくても働けない母親の「保育園落ちた!」や、女性のみが職場でヒールのある靴を履かなければいけないことへ抗議する「#KuToo」などがその例です。誰でも簡単に発信ができるようになったからこそ、その魅力とリスクを考えてみるべきなのかもしれません。

column | ロボット掃除機の誕生

平成に登場した数々の家電製品の中でも、今までにない斬新な製品が登場しました。ロボット掃除機はAI（人工知能）などのテクノロジーを活用した「時短家電」として、2002年の発売開始から10年間で累計800万台が販売されました。共働き世帯が増加する時代、猫の手を借りたほどこ忙しく過ごす人が増えています。ロボットが掃除の概念を変え、ワーク・ライフ・バランス実現に寄与するのではないのでしょうか。

育休取得率
女性 **83.7%**
男性 **1.38%**

セクハラ相談件数
15,799件
(過去最高)

完全失業率
5.4%
(過去最悪)

2010
H22

待機児童が過去最多に
イクメン

2008
H20

リーマンショック
日本の人口がピーク、減少に向かう
名ばかり管理職

2007
H19

改正男女雇用機会均等法施行、
企業に対しセクハラ防止措置の義務化
超高齢社会（高齢化率21%に）
消えた年金

2005
H17

合計特殊出生率 1・26人（過去最低）
クール・ビズ

2003
H15

次世代育成支援対策推進法施行、
企業に子育て支援の拡充を求める

2002
H14

中山弘子新宿区長就任
(東京23区初の女性区長)

2001
H13

配偶者からの暴力の防止及び被害者の
保護に関する法律施行
ドメスティック・バイオレンス（DV）



クールビズ



カジュアルなアンサンブルニットにスカート

平成中期

就職氷河期

男女雇用機会均等法の改正以降、女子の制服着用が減少。カジュアル化とともに、クールビズなど働きやすい服装が奨励された。

column | 学校制服はどう変わった？

学校制服も時代によって変化します。昭和では男子は詰襟、女子はセーラー服が主流でしたが、平成ではブレザーとネクタイ・リボンのスタイルが増えました。制服のデザインは学校選択におけるポイントの一つともなっていますが最近は女子にもスカート以外の選択肢がある学校が増えています。制服は思い出と深く結びついているものですが、暑さ寒さへの対応のしにくさ、LGBT等への配慮などから、これからもその在り方が変わっていくことでしょう。

column | テレビドラマからみた多様性

平成初期にはバブル景気を背景におしゃれな男女の恋愛模様を描くトレンドドラマが、バブル崩壊後は家庭や仕事などリアルなドラマが多く制作されました。男性の部下を持つ女性管理職や年上の部下を持つ若手管理職、シングルマザー、専業主夫が登場し、車いすに乗った主人公のドラマがヒットした際には「バリアフリー」という概念が一気に広がりました。

平成後期には少子高齢化、生涯未婚率上昇を踏まえ、高齢者や独身者の日常を描いたドラマが現れました。またLGBT等への理解と多様性の広がりを反映し、同性愛カップルが主役となるドラマも増えてきました。

女性の労働力率
35歳～39歳

74.8% (過去最高)

課長職
女性割合 (民間)

11.2%に

男女賃金格差

73.0

(男性100)

女性の勤続年数

10年超える

介護離職者

10万人

2019
H31/R1

2018
H30

2017
H29

2016
H28

2015
H27

2013
H25

2012
H24

働き方改革関連法施行、
長時間労働の解消などをめざす
消費税10%に

#MeToo
政治分野における男女共同参画の推進
に関する法律施行

改正男女雇用機会均等法施行、妊娠・出産等
に関するハラスメント防止を企業に課す
日本のジェンダーギャップ指数114位 (過去最低)
インスタ映え

女性活躍推進法施行
保育園落ちた
AI
小池百合子東京都知事就任 (女性初)

一億総活躍社会
ワンオペ育児

ブラック企業

終活



リュックスタイルのビジネスカジュアル

平成後期

多様化の時代

終身雇用が崩れ、転職や多様な働き方が広がる。IT企業を中心に
よりカジュアルな、また個性的な
ファッションへと変わりつつある。



ジェンダーを問わない高校の制服

令和
元年

一人ひとりの 夢・目標・メッセージ

誰もが生きやすい社会は一人ひとりの思いや行動とともに実現していきます。

令和元年にあたり、編集委員が新宿区在住・在勤の皆様に行ったアンケートから一人ひとりの「夢や目標、メッセージ」をご紹介します。

※アンケート実施 令和元年7月

+

… 画

AIやICTが発達しても
人間が取り残されない社会

(40代／吉住健一区長)

+

… 画

働き方改革は男女共通の
問題。テレワークも家事
・育児負担の軽減に寄与
すればと

(50代男性／公務員)

+

… 画

誰もが誰かに幸せを届
けられる社会にしたい

(20代／学生)

+

… 画

多様な働き方で、個々
人の能力が活かせる社
会

(50代男性／会社員)

+

… 画

聴こえない人への理解、
手話を広めたい

(女性／手話講師)

+

… 画

意味のない校則や慣習
がなくなり、生徒児童
がのびのびできる時代

(10代女性／学生)



+

… 画

好きなことを仕事にし
てずっと暮らしていき
たい

(50代女性／会社員)

+

… 画

なりたい自分になる

(10代女性／学生)

+

… 画

女性と子どもの貧困を
なくしたい

(50代女性／会社員)

+ ... 画

母と子が安心して暮らせる社会

(50代女性／保育士)

+ ... 画

男女平等社会の実現

(50代女性／会社員)

+ ... 画

長男誕生を機に残業を見直し、子育ての時間を確保するために、テレワークを活用したい

(40代男性)

+ ... 画

いくつになっても充実した日々を過ごしたい

(70代男性)

+ ... 画

結婚という形にとらわれず好きな人と一緒にいたい

(20代女性)

+ ... 画

ひ孫と少しでも長く遊べるように健康第一

(80代女性)

+ ... 画

持続可能な社会

(20代男／会社員)

+ ... 画

お店を長く続けていきたい

(60代女性／自営)



+ ... 画

子どもたちが元気に安全に楽しく暮らせる社会

(40代女性／会社員)

+ ... 画

自分のやりたいことと社会の貢献が一致するようにがんばりたい

(20代男性／会社員)

+ ... 画

お互いの価値観を認め合いながら顔を合わせて助け合う社会

(40代女性／会社員)

+ ... 画

多くの人と会話をする機会と時間を増やして、感動する環境に身をおいていたい

(40代男性／会社員)

+ ... 画

日本語をもっと勉強して、日本でお店をもちたい

(20代男性／留学生)

+ ... 画

進む国際化、何か人の役に立てるよう英語の勉強を始めました

(50代女性)

+ ... 画

いろんな存在が認められる、過剰でなく無でもなくほどよくお互いに関われる環境になるといいかな

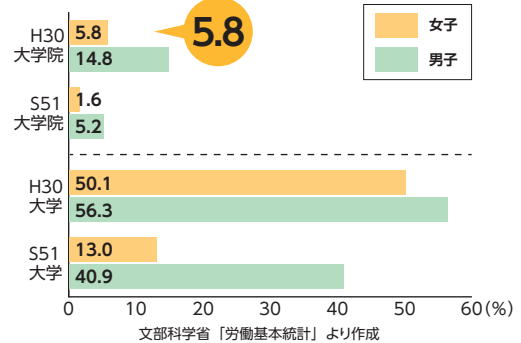
(40代女性／ヘルパー)

データ・ウォッチング

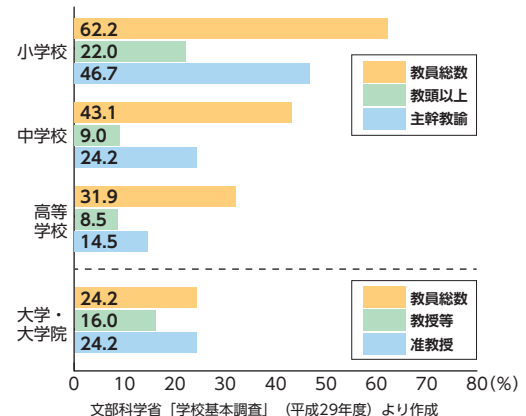
「5.8%」

女子の大学院進学率

大学・大学院の男女別進学率



教員総数に占める女性の割合（教育段階別、平成29年度）



教育分野においては男女平等が進んでいる日本ですが、大学院の進学率では男女で格差が見られます。平成30年度の大学院進学率は男子が14・8%であるのに対し、女子は5・8%です。

男女格差はなぜ起きる？

学力に男女差はありません。海外では、大学院進学率は男女で変わらない、または女性の方が多い国もあります。

なぜ日本では約3倍の差があるのでしょうか。「女に学歴は必要ない」といったジェンダー意識が原因の一つと考えられますが、原因はそれだけではなく、学問や専門性の高い仕事に従事する女性のロールモデルが身近に少ないことです。女性教員の比率は中学、高校と上がるにつ

れて下がっていき、特に理系教科（数学、理科）ではその傾向が顕著です。

男女格差の弊害とは？

大学院を含む高等教育進学率における男女格差はどのような弊害を生んでいるのでしょうか。

まず、最終学歴によって初任給が異なったり、専門性が高い仕事に就業しにくかったりする点が挙げられます。

また、女性は結婚、出産育児、夫の転勤等により、キャリアを積む時期に休職や退職、非正規労働の選択を余儀なくされる場合があります。

学歴や専門性の高い仕事の経験があれば、たとえ休職や退職をしても

復職や再就職の可能性が高まります。一方、そうした経験等がない場合は、キャリアの中断は就業や収入の面で不利益を被ることになります。その結果、高い専門性を持った女性のリーダーや管理職が育たず、ロールモデル不在という悪循環が起きているのではないのでしょうか。

とはいえ、女子の進学を阻むようなジェンダー意識は年々減少しています。家族に反対されたため満足できる進路選択ができなかった女性の割合は、20代では11・5%まで減少しています。男女格差をなくすための法整備も進みました。今後は、性別にかかわらず希望する人が学び、能力を発揮できる社会になることが望まれます。

本の紹介

『三つ編み』

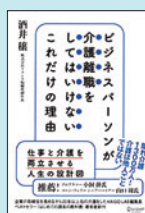
レティシア・コロバンニ／早川書房



フランスの女性映画監督による小説。「髪」をキーワードに3人の女性の話がオムニバス形式で語られる。最下層のインド女性は命がけで寺院に逃げ込み髪を捧げる。イタリア女性は家業のカツラ工場を引き継いだものの倒産の危機にあい、乳がん罹患したカナダ女性は敏腕弁護士の座を失う。差別や偏見、困難、病気にも負けず、自分の意思で人生を切り開く3人の運命が三つ編みのごとく絡み合うストーリーが秀逸。映画を観ているように一気にラストまで読ませる。

『ビジネスパーソンが介護離職をしてはいけないこれだけの理由』

酒井穂／ディスカヴァー・トゥエンティワン



筆者は20代のころから20年以上母の介護を続けているビジネスマン。介護はいきなり始まり、誰にでも起こりうる。離職によって介護の負担は減らないばかりか、子の人生の選択肢を減らすことは、親にとっても不幸である。共倒れという大きなリスクのある介護離職を回避する具体的な方法と、介護を人生の一部として肯定するための指針が示されている。仕事と介護を両立する時の、自分自身のあり方を考えるきっかけとなる1冊である。

『ぼくのママはうんてんし』

大友康夫／福音館書店



共働き家庭の特別な一日をめぐる物語である。保育園に通うのぞむと妹のあゆみのママは中央線の運転士、パパは病院勤務の看護師。同じ時間に家族が何をしているのかが見開きごとに描かれ、登場人物の気持ちになって物語を読み進めることが出来る。ハプニングがあらながらも、のぞむからママへ気持ちが伝わった場面では、こちら思わず顔がほころぶ。両親が性別にとらわれずに職業に就き、誇りをもって仕事に取り組む姿をみた子どもたちが、令和でもっと自分らしく輝けますように。

世界の仕事・家庭・生き方

国が変われば事情も変わる。
来日して16年。しんじゅく多文化共生プラザで外国人相談員を務めるマラ・スミタ・マンジャリさんにお聞きしました。



Q 日本に来られたきっかけを教えてください。

日本人の夫がネパールに旅行で滞在したときに知り合い、その後結婚しました。子どもが4歳と2歳の時に来日し、今年で16年目です。

以前は他市の国際交流ラウンジのスタッフとして外国人の相談に乗る仕事をしていました。

今は、パキスタン人、インド人、ネパール人にウルドゥ語、ヒンディ語、ネパール語を使い、日本語学習をサポートする仕事をしています。

Q 多文化共生プラザの相談員としてやりがいを感じることは何ですか。

相談の内容は仕事の合間に日本語を勉強できる場所を知りたいといったものが多いです。

どこに相談すればいいかわからず、本当に困ってこちらに来た方の相談に乗って解決することによりがいを覚悟します。例えば、ネパールでは部屋を借りる際に、日本のような保証会社の制度がなく、来日した人はそれを知らないのだから、大家さんとトラブルになることがあります。こうした相談では日本の文化や習慣から説明する必要があります。日本とネパール両方の国の事情を知っていることが大事です。通訳するだけではなく、自分にしかできない大切なことがある

と感じています。

Q 日本とネパールの社会ではどんな点が違いますが。

ネパールは伝統的に男性優位社会で、私の上の世代では女性が家にいることが裕福な家庭の証とされていました。しかし私の世代になると、働く女性と家にいる女性が半々くらいになりました。

私のいた首都カトマンズでは、職場の仕事や出世で男女の違いはありませんでした。日本は先進国で平等だと言われていますが、日本に来て、女性がお茶くみやお酌をする光景や、出せや給与に男女差があることに驚きました。

Q 日本の良いところは、どんなところでしょうか。

日本の学校で行われる部活動は、とても良いと思います。子どもたちは部活でヘトヘトになり、厳しい面もあると思いますが、それを超える良い面があります。上下関係やチームワークを学ぶことができます。日本人ほどチームワークを大切に国民はいない、それが日本の発展につながっていると思います。部活動の指導者が不足しているとのことですが、なんとか続けていく方法を考えてもらいたいと思います。

Q 将来の夢をお聞かせください。

新宿に増えてきているネパール人の中には母国語の読み書きができない人もいます。ネパールの地方では十分に教育が受けられない厳しい現状があります。地方でも教育を受けられるように環境作りを進め、最終的にはネパールに学校を作るサポートができれば。それが夢です。

男女平等事情



首都カトマンズ

ネパール連邦民主共和国、通称ネパールは、チベット自治区とインドに挟まれた細長い国。世界有数の山岳国で、ヒマラヤ登山の玄関口として知られているほか、唯一、四角形でない国旗を持つ国です。北海道の約1・8倍の面積に、100以上の民族が暮らしています。

家父長制が根強く残り、男女格差のある国の一つです。貧困などの理由で義務教育を受けられない子どもが多いなか、

女子は優先順位が低くなりがちで、女性の識字率は、男性75・1%に対し、57・4%（2011年）です。まだまだ妊娠・出産で命を落とす女性も見られ、女性の平均寿命は71・6歳、世界121位（2018年）となっています。

一方、女性が大統領などの要職についていることから、ジェンダー・ギャップ指数（2018年）は105位と、日本（110位）より高くなっています。

仕事も生活も
輝いてしんじゅく
ワーク・ライフ・バランスの星

非常勤職員として、好きな仕事と子育てを両立し、自分らしく無理せず笑顔でいれば、家族も笑顔になることを実践している松風さん。

「子どもの成長も楽しみ、やりがいのある保育士の仕事も楽しんでいます」 夫が転勤族で将来の見通しがきかない中、今を楽しく生きようとする姿がありました。

仕事と子育て
両立してます

松風 智佳さん

二葉南元保育園保育士

- 2010年 幼稚園教諭として勤務
2014年 結婚し夫の転勤に伴い退職
保育士試験に合格し免許取得
二葉南元保育園 非常勤職員
として入職
2016年 出産 産休・育休取得
2017年 1時間短縮にて復帰
クラス担任として勤務

自分に合った働き方

幼稚園教諭で働いていた時は家に持ち帰る仕事が多く、子どもができた後、結婚して夫の転勤を機に退職後、子どもと関わる仕事で多様な働き方ができそうな保育士の免許を取りました。非常勤で応募したのは、就職してすぐに出産や夫の転勤で職場に迷惑をかけたくなかったし、私が娘の送迎をすることを考えると、正規職員は難しいと思ったからです。

相談者を身近につくる

私は実母を早くに亡くし、子育てに対して漠然と不安がありました。夫の両親は仕事と介護があるのですが本当に困った時にはいつも助けてもらっています。今は子どもの通う保育園にいる先生方にも気軽に相談することができて、不安なく子育てを楽しんでいます。

仕事と家庭での心がけ

仕事では明日の準備などを残して帰らないように、計画的に早くに取り組みむようにしています。料理は好きですが、平

日は簡単に美味しい料理を楽しく食べられるように、焼くだけや茹でるだけで美味しい新鮮な野菜を買うなど、工夫をしています。家事は、夫婦で協力してこなせるように私が娘の送迎と料理を、夫は洗物と洗濯物を分担し、飲み会などで帰宅が遅くなってもしています。

楽しく生きるために

非常勤でも担任をもたせてもらって、やりがいのある仕事をしていますし、娘との時間も楽しんでいます。自分が選んだことに対して不満を言うより、より楽しく過ごすにはどうしたらいいかという考え方をするように心がけています。

忙しい中でもお互いが気持ちよく過ごすために、夫にも娘にも「ありがとう」と「ごめんね」を言葉で伝えることを大事にしています。娘には、ママの大好きなお仕事が終わるのを保育園で待っていてくれてありがとうという気持ちで、「ありがとう」と伝えてきました。お母さんが笑顔で過ごせることが子どもにとって一番嬉しいことだと思っているので、勤務先の園の保護者にもお伝えしています。

前向きに笑顔いっぱい

町田 とし江さん
二葉南元保育園
園長

職場復帰後はクラス担任をしてもらいました。正規、非正規の垣根を越えて保育士としての役割をしっかりと担ってくれています。

将来、正規職員として働いてもらえることを期待しています。

1日のタイムスケジュール

平日

- 6:00 起床・家事
7:30 出勤
8:45~16:15 勤務
17:30 保育園お迎え 公園で遊ぶ
18:30 帰宅
19:00 夕食
22:00 寝かしつけ・自由時間
23:00 就寝

休日

- 7:00 起床
7:30 朝食
8:00 掃除・片付け
9:00 家族で出かけたり
それぞれの趣味に
出かけたりして過ごす
18:00 夕食
23:00 就寝



ここ・からまつり を開催します

第9回 奏でよう！笑顔のハーモニー

年々地域に定着してきたここ・からまつりの季節です。毎年恒例の企画もあれば、新たな取り組みもあり多種多様です。施設をよく利用されている方、毎年ここ・からまつりを楽しみにくださっている方はもちろん、初めての方もきっと楽しんでいただけます。

是非、お気軽にお立ち寄りください。お待ちしております！

【日 時】

11月10日（日）午前10時から午後3時まで（雨天時は内容を一部変更）

【会 場】

新宿ここ・から広場（子ども総合センター、しごと棟、マザアス新宿、多目的運動広場）

【主な内容】

●多目的運動広場

- ・ふれあい動物園（ウシ、ウサギ、ヤギ、アヒル等の動物たちと遊べるコーナー）
- ・マスコットキャラクター集合（あつまるくん、シルバーくん、ふらっとくん等、かわいいキャラクターが勢揃い！）
- ・「ジャグラー・ラビー」によるパフォーマンス
- ・「キングオブタイニールーム」による素敵なアカペラ演奏
- ・みんなで一緒に阿波踊り！

●子ども総合センター・しごと棟・マザアス新宿

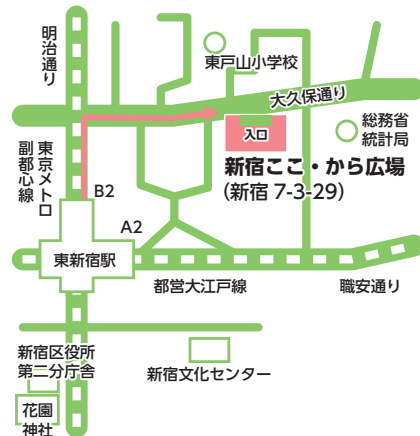
- ・中高生によるバンド演奏
- ・お話の世界（乳幼児向け）
- ・ダンスパフォーマンス
- ・3Dプリンターのデモンストレーション
- ・パラリンピック正式種目の「ボッチャ」体験
- ・介護用品の展示・販売
- ・みつばちプロジェクト展示

その他、屋台広場（焼きそば、ポップコーン等）、施設探検スタンプラリー、ゲームコーナー、体験コーナー等もあります。

【問合せ】子ども総合センター子ども家庭支援課管理調整係 ☎03（3232）0673



ジャグラー・ラビー



交 通

都営大江戸線・東京メトロ副都心線

東新宿駅から徒歩7分

都営大江戸線

若松河田駅から徒歩10分

JR山手線

新大久保駅から徒歩16分

都営バス

新宿ここ・から広場前停留所から徒歩1分

宿74 新宿駅西口ー東京女子医大

橋63 小滝橋車庫ー新橋駅（大久保駅前・新大久保駅前経由）

飯62 小滝橋車庫ー都営飯田橋駅（大久保駅前・新大久保駅前経由）

若者のつどい 2019 ココロ、おどる、新宿！

若者のつどいは、20歳代から30歳代の若者を中心に、出会い、交流しながら、「新宿の魅力」を知ってもらい、行政や団体等とのつながりを生み、地域参画への意識を高めることを目的とした屋内フェスです。

9回目の開催となる今回は「わくわくする＝ココロ、おどる」新宿の魅力をたっぷりお届けします！ご家族・友人等お誘い合わせの上、ぜひご来場ください。【詳細は「JGweb」(<http://jgweb.jp/>)へ。】



【日 時】11月16日（土）午後1時～4時45分（午後0時30分開場）

【会 場】新宿文化センター（新宿6ー14ー1）

【主な内容】

●大ホール

人気声優 速水奨さんと落語家 立川談笑さんがそれぞれ区長とトークショー。区内の専門学校の学生や新宿で活動するアイドルによる熱気あふれるステージ。

●小ホール

寄席。ダンスステージ。新宿の歴史・文化をテーマとしたトークショー他。

●B1階展示室

新宿の地場産業等の紹介や新宿の歴史写真展。人気カフェの協賛によるカフェコーナー。

●その他

人気占い師による占い。VR、フェイクスイーツ、オートネイル体験。行政情報。区内で活動する団体の紹介やお役立ち講座。新宿と縁のある自治体の紹介。アンケートに答えて豪華賞品が当たるコーナーなど盛りだくさん。

【問合せ】男女共同参画課

（荒木町16、男女共同参画推進センター）

☎03（3341）0801 FAX03（3341）0740



公式TwitterとInstagramで、イベント出演者や出展団体が「新宿でココロおどること」を写真付きで発信！

【公式アカウント】@shinjuku_waka
【ハッシュタグ】#新宿区若者のつどい



速水奨



B2takes!!



立川談笑



二丁目の魅カミングアウト



暴力は許さない! パープルリボンを知っていますか?

11月25日は国連の定める「女性に対する暴力撤廃国際デー」で、女性に対する暴力根絶を訴える活動の象徴である紫のリボン（パープルリボン）を身につけて運動への賛同を表明します。日本では、11月12日～25日を「女性に対する暴力をなくす運動期間」として、さまざまな活動が行われます。

新宿区でもパネル展示や啓発講座を実施します。是非足をお運びください。

(1) パネル展示

期間：令和元年11月19日～29日

場所：第一分庁舎 1 階ロビー

(2) DV防止啓発講座

「その心身の不調、原因は夫かも？」

女性のためのモラルハラスメント処方箋

日時：令和元年12月14日（土）午後2時～4時

講師：栄田千春（NPO法人レジリエンス）

会場：男女共同参画推進センター（ウィズ新宿）

詳細は「広報新宿」でもお知らせします。

【問合せ】男女共同参画課 ☎03（3341）0801



これから開催する講座

①ぐっすり快眠術～心と体を健康に～

日時：令和元年11月30日（土）午後2時～4時

講師：鍛治恵（睡眠改善インストラクター）

②事実はマンガよりも奇なり?!

家事分担&夫婦ツオペ育児への道のり

日時：令和元年12月7日（土）午前10時～12時

講師：水谷さるこ（イラストレーター・マンガ家）

③あなたの髪、大丈夫?

～髪と長くつきあうために～

日時：令和2年1月18日（土）午後2時～4時

講師：伊藤清（公益社団法人日本毛髪科学協会）

④男に介護は難しい?

～男らしさとケアの〈危険な関係〉～

日時：令和2年1月25日（土）午後2時～4時

講師：平山亮（社会心理学者、東京都健康長寿医療センター研究所 研究員）

⑤DV加害者は変わるのか

～被害者支援の立場から～

日時：令和2年3月12日（木）午後1時30分～4時

講師：山口のり子（アウェア(AWARE)代表）

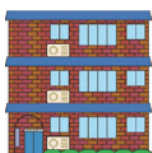
会場：①～④男女共同参画推進センター（ウィズ新宿）、⑤矯風会館1階ホール（新宿区百人町2-23-5）

詳細は「広報新宿」でもお知らせします。問い合わせは男女共同参画課☎03（3341）0801へ。



発行 新宿区子ども家庭部男女共同参画課
新宿区立男女共同参画推進センター
〒160-0007 東京都新宿区荒木町16番地
TEL03(3341)0801 FAX03(3341)0740

発行日 令和元年10月31日



令和元年度 男女共同参画フォーラム(予告)



日時 令和2年2月15日（土）午後1時30分～4時
会場 四谷区民ホール
内容 ワーク・ライフ・バランス推進優良企業表彰式
小堀鷗一郎氏（訪問診療医）講演
「ささえあう多くの命の物語～訪問医と共に考える～」

134号の編集を終えて

特集の企画にあたり、平成30年間の出来事や流行語、ヒット商品をまとめる作業をしました。懐かしく振り返る一方、改めて社会の変化を実感しました。令和ではどんなものがヒットするのでしょうか。来年に迫った東京オリンピック・パラリンピックのテーマの1つは「多様性と調和」です。どんな変化が起こるのか注目しています。（岩田 弥生）

今回初めて編集委員に参加しました。編集会議や取材、文章の書き方など一つひとつがとても勉強になりました。男女の賃金格差や少子高齢化など改善がなかなか進まない問題も少なくありませんが、平成30年間で女性が生きやすくなってきたのだと思います。令和は誰もが自分のやりたいことができる社会になってほしいです。（岩田 優羽）

平成を振り返り、どんなことを思い浮かべるでしょうか。私はものごとの変化に興味があり、女性の社会進出の状況を連想しました。職場でも生活リズムや背景の違う仲間が増えています。違いを認めることはいろいろな考え方を知る機会になるので、私も伝えられるように自分の意見をしっかりと持っていきたいと思っています。（上野 麻美）

初めまして。編集会議、資料集め、取材、原稿執筆、イラスト作成…全てが新鮮で貴重な経験です。『世界の仕事・家庭・生き方』マンジャリさんへのインタビューが大変印象的でした。大人の社会から差別や偏見がなくなれば、子供達のイジメもなくならない気がしました。心に刻んでいきたいと思っています。（北村 説子）

昭和の終わりの流行歌に「しあわせは誰かがきつと運んでくれる」との一節がありました。令和の現在、「誰か」ではなく、「自分で発信すること」で社会や生活に影響を与えることができるようになりました。この号を手にとった方にも、それを感じていただけたらうれしいです。（木村 桂子）

先生や編集委員のみなさんとお話をしていく中で、令和を生きる娘に伝えたいメッセージをたくさん発見する事ができました。私は平成元年生まれです。平成を振り返るという事は、自分自身の振り返りにつながりました。令和では、本当の意味で性差に関係なく生き方を選択するというのが当たり前になるよう望みます。（三井 真実）

編集後記

平成30年を振り返ると、私たちの社会は技術のめざましい進歩とともに、多様性を重視する教育を進め、男女が共に働きやすくなる仕組みを整えてきました。しかし、男女平等に対する人々の意識は、まだまだ充分とは言えません。令和の時代には、性別、国籍、文化などの異なる多様な人々が互いに協力し合い、誰もが個人として尊重されて支え合えるように、みんなで考えていきませんか。

表紙写真

平成6年の新宿通り（右）、
平成29年の歌舞伎町（左）

